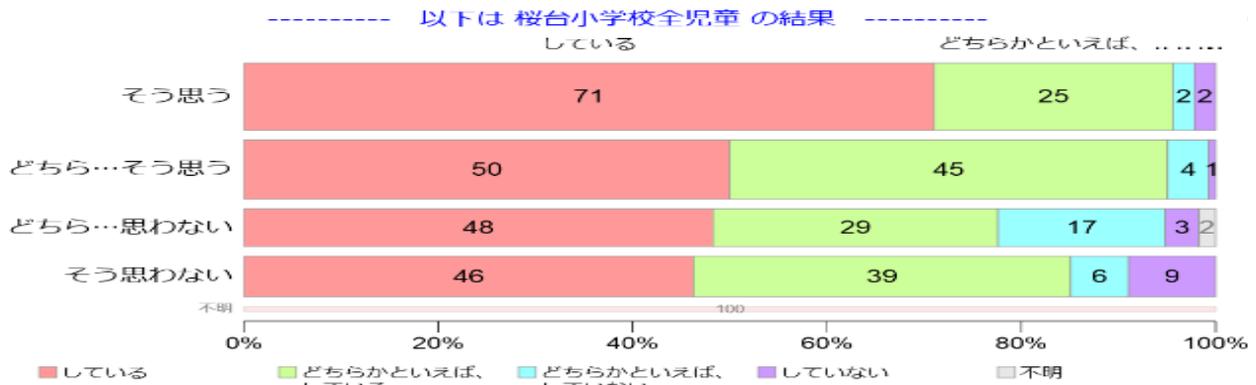


① 【自尊感情】「自分のことが好きか」

あいさつを自分からしていますか (× 自分のことが好きだと思いますか)

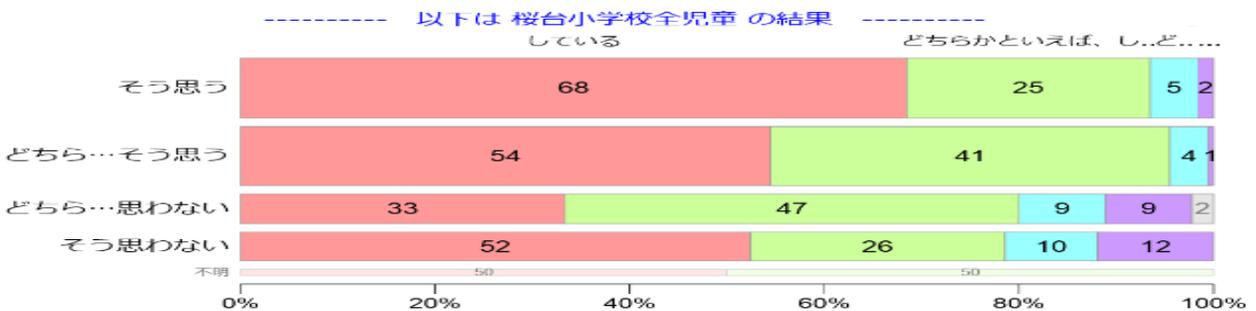
あいさつを自分からしていますか。



② 【自己肯定感】「自分にはよいところがあるか」

あいさつを自分からしていますか (× 自分にはよいところがあると思います..)

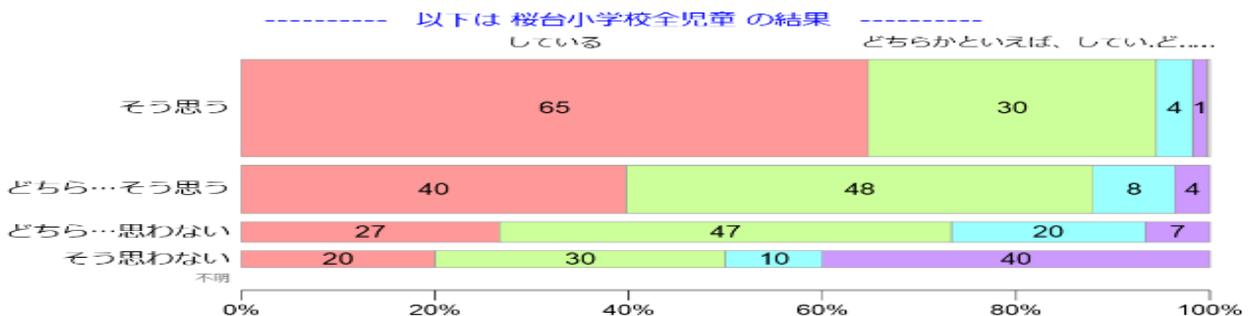
あいさつを自分からしていますか。



③ 【自己有用感・相手意識】「誰かの役に立つ人になりたいか」

あいさつを自分からしていますか (× 誰かの役に立つ人になりたいと思いま..)

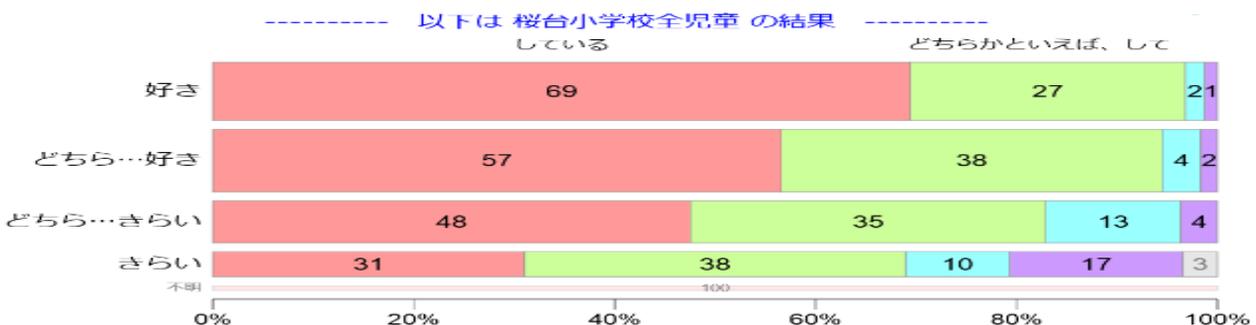
あいさつを自分からしていますか。



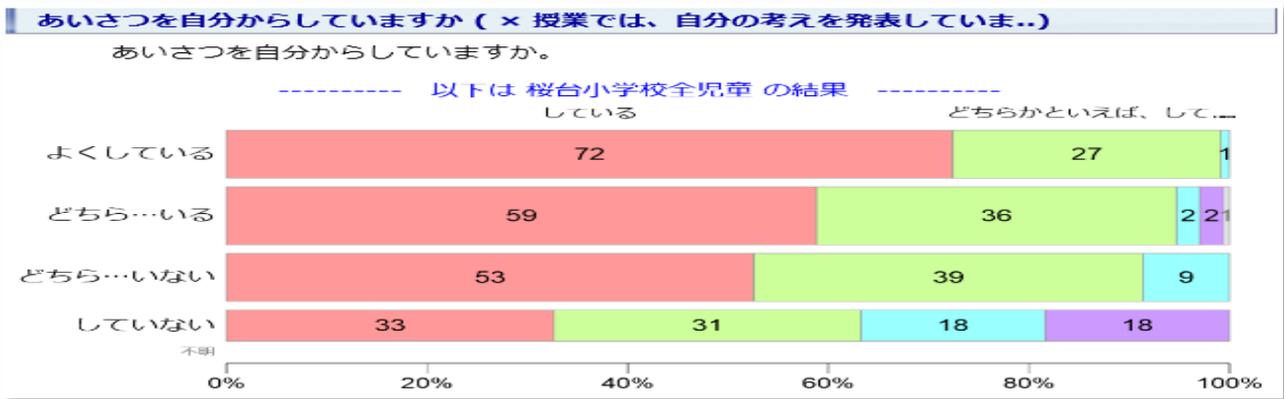
④ 【学習への関心】「勉強は好きか」

あいさつを自分からしていますか (× 勉強は、好きですか)

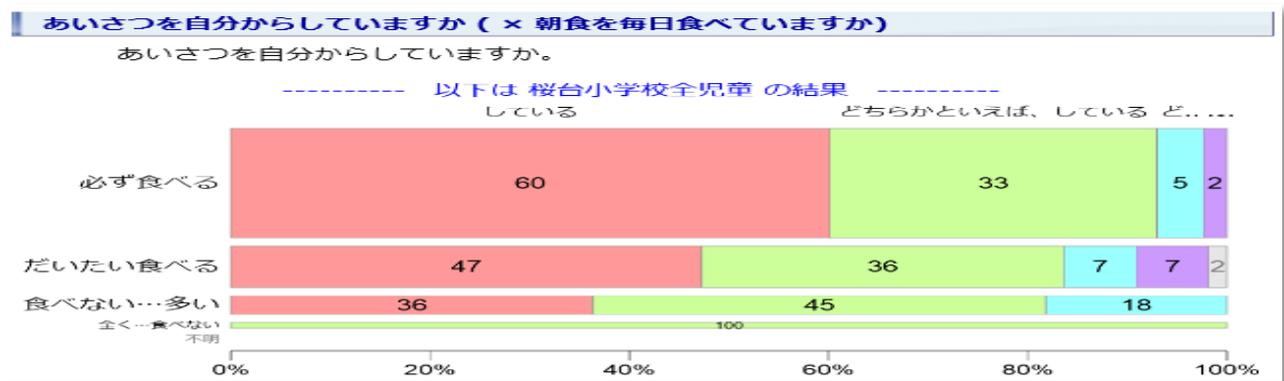
あいさつを自分からしていますか。



⑤ 【学習への意欲】「自分の考えを発表しているか」



⑥ 【生活習慣】「朝食を毎日食べているか」



いかがでしょうか。以上のデータから正の相関傾向が読み取れます。つまり、「自尊感情・自己肯定感・自己有用感・相手意識」や「学習に対する関心・意欲」が高く「生活習慣」が身に付いているほど、自分から「あいさつ」をしている割合も高くなっているということです。

逆から言えば、「自尊感情・自己肯定感・自己有用感・相手意識」が醸成され、「学習に対する関心・意欲」が高められていけば、おのずと自分から「あいさつ」できるようになっていくという仮説が成り立ちます。そしてそこには「素直さ・謙虚さ」に覆われた「自信」という自分づくりの軸が存在しているのだと思います。

「あいさつ」は人格形成するうえでの基本であり、自分から「あいさつ」ができることは、人が社会で生きていくうえでとても重要な力となります。義務教育で「あいさつ」の仕方を形から教えていくことはもちろん必要です。一方で、ただ形式的に教え込み、強制させるのではなく、子どもの内面にある自尊感情や自己肯定感、学習への関心や意欲を涵養していくことが大事であると実感しています。改めて、「心を豊かにする」情操教育の意味や価値について教職員で共有した次第です。

最後に、10月予定されていた4～6年生の宿泊行事についてお知らせします。

「横浜市立学校の教育活動の再開に関するガイドライン」に基づき、実施する方向で日程変更や感染予防対策（バスの台数や部屋数を増やす等）を講じた上での実施計画を立ててまいりましたが、昨今の社会情勢を鑑みるとともに、バス移動や宿泊行程（飲食・入浴・就寝等）による集団生活での感染（クラスター）発生の可能性を完全に防止できない現状を踏まえて、誠に残念ではありますが、今秋の実施は難しいと判断し、4、5年生は今年度中止という苦渋の決断に至りました。6年生は卒業前3月の実施を再検討いたします。また、各学年代替の日帰り遠足を計画していきます。詳細につきましては、後日改めて学年からのお知らせ等でお伝えします。ご理解の程、どうぞよろしくお願いいたします。